



PLAYMIX 6 PLAYMIX 8 PLAYMIX 10

MIXING CONSOLES



USER'S MANUAL

取扱説明書

ENGLISH

日本語

96MAN0174-REV.11/24

PROEL

安全上のご注意



警告表示:

- 三角形の雷マークは「危険電圧」の警告マークです。本製品に同梱されている機器を使用する際は安全確認を行ってください。不適切な使用による感電の恐れがあります。
- 三角形のびっくりマークは「注意喚起」の警告マークです。ユーザーは本製品を使用また操作、メンテナンスする際に注意すべき点を表します。

1. ご使用の前に本取扱説明書を必ずお読みください。
2. 本取扱説明書は大切に保管してください。
3. 警告表示にご注意ください。
4. 取扱説明書通りに操作を行ってください。
5. 水と水気のある場所では使用しないでください。
6. お手入れの際は、柔らかく乾いた布をご利用ください。
7. 本体の換気口を塞がないでください。取扱説明書通りに設置してください。
8. ラジエーター、暖炉、オーブン、その他の熱を発生する装置（アンプを含め）等、本体を熱源の近くに設置しないでください。
9. 電源プラグはグラウンド接続が必要なタイプと分極型があります。必ず指示に従ってください。分極型のプラグは二本の差込コネクタがあり、片方はもう片方より太く作られています。グラウンド接続のタイプは二本の差込コネクタを除き、三つ目のコネクタがあります。太いほうのコネクタと、三つ目のコネクタは製品の使用上に安全性を保つために必要なものです。同梱のプラグがご使用のコンセントに適合しない場合は、専門業者にご相談の上、適合するプラグに変えてください。
10. ケーブルによる転倒事故など、製品の破損、怪我防止のため、ケーブルの接続・差し込み口を必ず確認してください。
11. アクセサリーと併用する際は公式指定、または推奨の製品のみご使用ください。
12. 別売または公式指定のカート、スタンド、三脚、金具をお使いください。カートに載せて運搬する際は、怪我、落下を防ぐために安全を確保してください。
13. 落雷の危険がある場合、または製品を長時間使用しない際は本体のプラグを電源から外してください。
14. 電源コードやプラグが損傷した場合、本体に液体がこぼれたり浸水した場合、雨や湿気にさらされた場合、落下等により破損した場合、専門の技術者による修理が必要です。
15. 警告：感電や火災の防止のため、製品を雨または水気のある場所に置かないでください。
16. 水滴、または水の飛沫が本体内部に入らないようご注意ください。例えば、花瓶等液体の入ったものを本体の上に置かないでください。
17. 本体の主電源を完全に切る場合は、アダプタを本体から抜いてください。
18. 主電源プラグはすぐに操作できるようにしてください。
19. 本製品は高電圧が発生する可能性があります。感電や事故防止のため、製品の筐体、内部のモジュールまたは AD アダプタのカバーを取り外さないでください。内部にお客様自身で修理可能な部品はありません。修理は専門業者に依頼してください。
20. 本製品は高湿度のアウトドア環境には不向きです。高い湿度は本体に損傷を与える可能性があります。
21. 本製品に同梱された AC/DC アダプタのみお使いください。
22. 本体とアダプタを接続する際は、本製品に同梱された USB Type-A=Type-A のケーブルのみお使いください。
23. 同梱された AC/DC アダプタは安全基準を満たしたものとなります。
24. AD/DC アダプタの内部にお客様自分で修理可能な部品はありません。万が一故障した場合は新しいものに取り換えてください。





製品本体または製品に付属する文書に記されている上記の記号は、本機器が家庭ごみとして扱われないことを示します。不法廃棄物処理における環境破壊や人身事故を避けることを目的とします。持続可能な経済活動を促進するため、本製品を廃棄する際はリサイクル施設へ処分を依頼してください。家庭内で使用する場合、本製品のリサイクル方法、場所などの詳細は本製品を購入した店舗、またはお住まい地域の役所へお問い合わせください。事業で使用する場合、供給元にご連絡し、売買契約の詳細をご確認ください。本製品を一般の産業廃棄物と共に廃棄してはなりません。

FCC 声明

本製品は FCC 規則第 15 章に定められた条約に準拠しています。規制要件は以下 2 つの条件があります。

- (1) 本製品は障害となる電波を発生しません。
- (2) 電波障害を含む、受信されたすべての電波に対して正常に動作します。

注意：メーカーの承認を得ていない者による人為的な改造は保証対象外となります。

備考：本製品は FCC 規則第 15 章に定められたクラス B 電子機器に関する規制要件に基づいて所定の試験を実施し、認証取得しています。規制要件の目的は有害な電波を発生することなく製品の安全性を確保するための規定です。本製品は電磁波を発生し、使用、放射することがあります。取扱説明書に従わずに不適切な設置、使用された場合は無線通信に電波障害を引き起こす可能性があります。ただし、適切に設置された場合でも干渉は起こる可能性があります。本製品はラジオやテレビの受信に対し、干渉を引き起こす可能性があります。製品の電源を切り替えてお確かめください。干渉が起きていることが判明した場合は、以下の対策をお試しください：

- アンテナの向きを変えるか場所を移す
- 本機と受信機の間に障害物を設ける
- 本機を受信機の接続されているコンセントと異なるコンセントに接続する
- 専門業者に相談する

適合宣言

本機は、指令 EMC 2014/30/EU、RED 2014/53/EU、LVD 2014/35/EU、RoHS 2011/65/EU 及び WEEE 2012/19/EU の必須要件およびその他の関連仕様に適合しています。

警告(EN 55032 CISPR 32)

EM 干渉下では、SN 比は 10dB 以上変化します。

保証規定

Proel は本製品のお買い上げ日より 2 年間、通常の使用において材料または製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間は製品がお買い上げ日から有効とします。保証を受ける際には購入証明書類（請求書または購入日の記載された納品書の提示）が必要です。保証期間内にご購入いただきました製品に修理等の必要が生じた場合は、本保証規定に記載された条件に従って当該製品の保証サービスを承ります。製品に同梱されている取扱説明書に従わなかったことにより生じた損害については責任を負いません。保証期間内に、Proel は不良品に対し、部品の修理または交換を行います。Proel は製品の「直接破損」または「間接破損」による製品の故障は保証しません。

- 本製品の梱包は ISTA 1A の衝撃試験に認定されておりますが、開梱後の扱いに十分ご注意ください。
- 万が一、損傷を発見した場合は直ちにお買い上げの販売元に連絡し、梱包材を含めたすべての同梱品を保管してください。
- Proel は輸送中の損傷に対して責任を負いません。
- 製品が引き渡されてから送料、リスク等は買い手の負担となります。
- 輸送中に潜在的なリスクが伴う場合は、輸送会社に知らせてください。
- 梱包に対するご意見は、製品受領後 8 日以内に行ってください。

利用条件

Proel は本製品の不適切な使用、販売または推奨していない交換部品の使用、メンテナンスを行っていない、人為的に改造または整備、安全基準に準拠していない使用による損傷に対し、責任を負いません。機器の使用規定については適用される国内法、または連邦法、州法、自治法を参照することを推奨します。本製品の使用にあたり、専門的な知識が必要です。お問い合わせは、直接メーカーにご相談ください。

目次 - 日本語

製品紹介.....	20
操作パネル概要.....	20
1. MIC/LINE XLR 入力.....	20
2. MIC/LINE JACK 入力.....	20
3. LINE/-30dB パッドスイッチ.....	22
4. +48V ファンタム電源スイッチ.....	22
5. +48V LED.....	22
6. PEAK インジケーター.....	22
7. GAIN コントロールノブ.....	22
8. LOW CUT スイッチ.....	22
9. HIGH コントロールノブ.....	22
10. MID コントロールノブ.....	22
11. FREQ コントロールノブ.....	22
12. LOW control コントロール.....	23
13. FX/AUX SEND コントロールノブ.....	23
14. PAN コントロールノブ.....	23
15. モノラルチャンネル LEVEL コントロールフェーダー.....	23
16. LINE (L MONO - R) JACK 入力.....	23
17. STEREO MINI JACK 入力.....	23
18. BAL コントロールノブ.....	23
19. STEREO CHANNEL LEVEL コントロールノブ.....	23
20. FX/AUX SEND コントロールノブ.....	23
21. AUX SEND JACK 出力.....	23
22. FX PRESETS セレクトノブ.....	23
23. FX PRESETS 表示ディスプレイ.....	24
24. FX LEVEL コントロールノブ.....	24
25. MP3 PLAYER/RECORDER.....	24
26. USB PORT.....	24
27. CH/USB BT スイッチ.....	24
28. MAIN MIX LEVEL コントロールフェーダー.....	24
29. MAIN MIX L/R XLR 出力.....	25
30. PHONES/C.ROOM レベルコントロールノブ.....	25
31. PHONES ステレオ JACK 端子.....	25
32. C.ROOM JACK 出力.....	25
33. L/R LEVEL メーター.....	25
34. 電源 ON 表示 LED.....	25
35. 電源スイッチ.....	25
36. DC IN 5V 2A 入力.....	25
DSP EFFECTS プロセッサ操作ガイド.....	26
MP3 プレーヤー/レコーダー操作ガイド.....	27
接続例.....	29
製品仕様.....	30
コネクタ.....	31
外観寸法.....	31



はじめに

PROEL 製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

PROEL 社の製品は入念に設計、製造され、充実した機能を兼ね備えています。

正規輸入された製品はすべて日本国内の各法規をクリアしている、長年お使いいただける耐久性を持つプロレベル製品です。

製品紹介

PLAYMIX は、コンパクトでスタイリッシュなパッケージの中に、充実した機能、優れたオーディオクオリティを備えながら、お手頃な価格帯を実現したモデルです。

PLAYMIX には、チャンネルとマスターの機能は同じで、6、8、10 入力の 3 モデルが用意されています。モノラルの MIC/LINE チャンネルには、低ノイズ、高ヘッドルームのマイクプリアンプ、スイープ MID と HPF を備えた 3 バンド EQ、60mm のコントロールフェーダーが搭載され、サウンドを完全にコントロールすることができます。

全モデルに、LCD ディスプレイを搭載し、先進の DIGITAL セクションを搭載しています。

- 高品質な 24-bit DSP を内蔵し、単体および複合エフェクト（REVERBS、DELAYS、MODULATIONS）のスタジオグレードのプリセットを 100 種類搭載。
- PC 接続による再生・録音が可能な 48KHz ステレオ USB オーディオインターフェース機能
- MP3 プレーヤー搭載。USB メモリーまたは Bluetooth 接続デバイスの再生が可能。
- MP3 レコーダー搭載。USB メモリーへのステレオ録音が可能。

PLAYMIX ミキサーは、イタリア PROEL 社によって入念に設計・製造され、頑丈なボディで、ステージでの使用に耐えうる耐久性を備えています。

操作パネル概要



注意：PLAYMIX シリーズはインプットセクションのチャンネル数の違いで 3 つのバリエーションがございます。

出力系統及びフェーダーセクション共通仕様です。

操作パネルの概要は PLAYMIX シリーズで最小のモデル PLAYMIX6 です。

1. MIC/LINE XLR 入力

XLR バランス入力です。マイク、楽器、LINE 入力のデバイスに対応します。

XLR の結線は以下の通りです。

ピン 1 = shield/ground

ピン 2 = +/hot

ピン 3 = -/cold

2. MIC/LINE JACK 入力

3P フォーンプラグバランス入力です。マイク、楽器、LINE 入力のデバイスに対応します。

JACK の結線は以下通りです。

Tip = +/hot

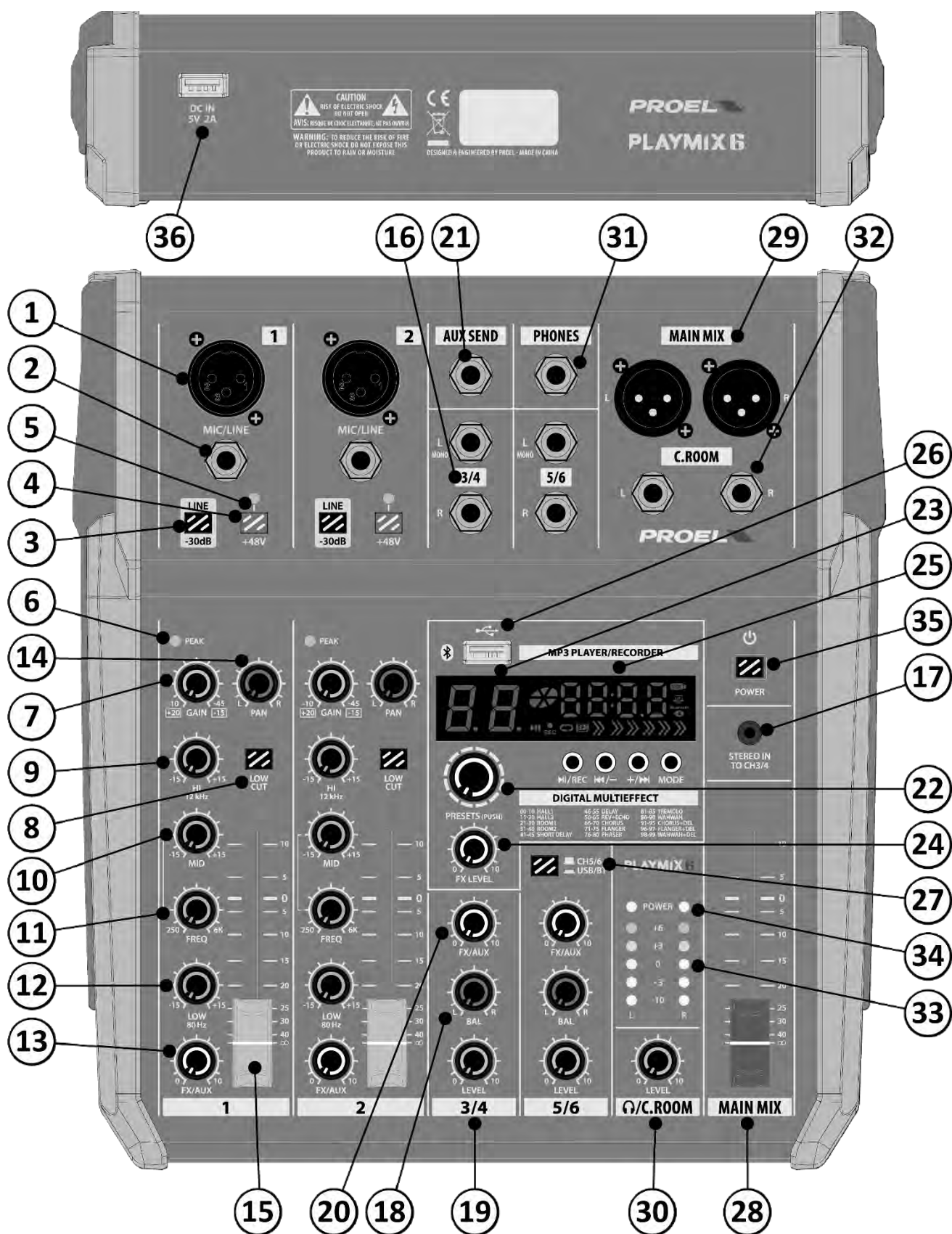
Ring = -/cold

Sleeve = shield/ground

アンバランス信号に接続する時の結線は以下の通りです。

Tip = +/hot

Sleeve = shield/ground





3. LINE/-30dB パッドスイッチ

-30dB のパッドスイッチは XLR 入力端子、フォン入力端子ともに-30dB 減衰します。ライン出力する機器と接続する際のみお使いください。高いレベルの信号の接続の際のクリッピング（ピークインジケータの点滅）を防ぐために使用します。

4. +48V ファンタム電源スイッチ

XLR 入力端子にファンタム電源を供給します。使用するマイク又はダイレクトボックスにファンタム電源が必要な場合のみ+48V ファンタム電源ボタンをオンにしてください。マイクケーブルを通して供給され、XLR コネクタの 2 ピンと 3 ピンに同等な直流電圧がかかります。ダイナミックマイクロホンはファンタム電源が必要ないため、ダイナミックマイクロホンを使用する際はファンタム電源をオンにしないでください。マイクが損傷する恐れがあります。ご使用前にお使いのマイクロホンの取扱説明書をご確認ください。

5. +48V LED

ファンタム電源が供給されているチャンネルが点灯します。

6. PEAK インジケータ

LED が点灯する場合、入力レベルがクリッピングに近いことを示します。

重要：LED が点滅している時、GAIN コントロールノブまたはパッドスイッチで入力信号のレベルを下げてください。

7. GAIN コントロールノブ

ゲインコントロールはマイクとライン入力の入力感度を調整します。

8. LOW CUT スイッチ

80Hz 未満の低周波数をオクターブあたり 6dB の割合でカットします。

バスドラム、ベース、シンセサイザーのパッチ及び録音用以外のマイクホロンに接続する際に LOW CUT スイッチをオンにすることを推奨します。80Hz 未満の低周波数にフィルターにかけることで、より明確な低域が得られます。

LOW CUT フィルターはフィードバック発生のリスクを軽減することもでき、アンプの消費電力の節約にも役立ちます。LOW CUT フィルターを LOW EQ コントロールと合わせることで、より澄んだボーカルが得られます。通常、BASS SHELVE EQ はボーカルの音域をブーストしますが、LOW EQ を追加することで環境音や操作音、呼吸もブーストされることもありますのでご注意ください。

9. HIGH コントロールノブ

12KHz で最大 15dB のブーストまたはカットが可能です。音の「明瞭さ」を増減します。

10. MID コントロールノブ

FREQ ノブで決定された周波数で最大 12dB のブーストまたはカットが可能です。音の「存在感」を増減します。

11. FREQ コントロールノブ

MID EQ の周波数を 250Hz～6kHz の間で設定します。MID EQ の影響を受ける周波数帯をより正確に制御することができます。

12. LOW control コントロール

80Hz で最大 15dB のブーストまたはカットが可能です。音の「パンチ」を増減します。

13. FX/AUX SEND コントロールノブ

内部のデジタルマルチエフェクトプロセッサと AUX SEND 出力へ送る信号のレベルを調節します。この信号はポストフェーダーのため、チャンネルのフェーダーの位置に依存します。

14. PAN コントロールノブ

ステレオ接続の際に、L/R出力へ送られる信号を調節します。

15. モノラルチャンネル LEVEL コントロールフェーダー

MAIN MIX へ送る信号のレベルを調整します。

16. LINE (L MONO – R) JACK 入力

バランス信号またはアンバランスのラインレベル信号を入力します。R ジャックが挿入されていない場合、L チャンネルはこの入力をモノラルチャンネルとして動作します。

17. STEREO MINI JACK 入力

PC やタブレット、MP3 プレーヤーの 3.5mmΦ ステレオミニジャックプラグを接続します。

Tip = positive signal of left channel

Ring = positive signal of right channel

Sleeve = shield or ground

この入力、最初のステレオチャンネル (PLAYMIX6 の 3/4、PLAYMIX8 の 5/6、PLAYMIX10 の 7/8) の入力と並列に内部結線しています。両方の入力を同時に聞くことができますが、2 つの入力のうち 1 つだけを使用することを推奨します。

18. BAL コントロールノブ

ステレオチャンネルの L/R のバランスコントロールノブです。

19. STEREO CHANNEL LEVEL コントロールノブ

ステレオチャンネルの信号のレベルコントロールノブです。

20. FX/AUX SEND コントロールノブ

信号を内部のデジタルマルチエフェクトプロセッサと AUX SEND へ送る量を調整します。この信号はポストレベルです。

21. AUX SEND JACK 出力

FX SEND で設定したアンバランスのラインレベル信号を出力します。

通常、外部エフェクターやステージモニターに接続するために使用します。

この信号はポストフェーダーのため、チャンネルのフェーダーの位置に依存します。

22. FX PRESETS セレクトノブ

このノブを回すと、DSP エフェクトを選択できます。

23. FX PRESETS 表示ディスプレイ

現在ロードされているプリセットの番号が表示されます。

FX PRESETS セレクターを回すと、ディスプレイは数字をスクロールし、ノブを押して新しいプリセットが確認されるまで点滅します。

24. FX LEVEL コントロールノブ

MAIN MIX 出力に送られる内蔵エフェクト信号のレベルを調整します。

25. MP3 PLAYER/RECORDER

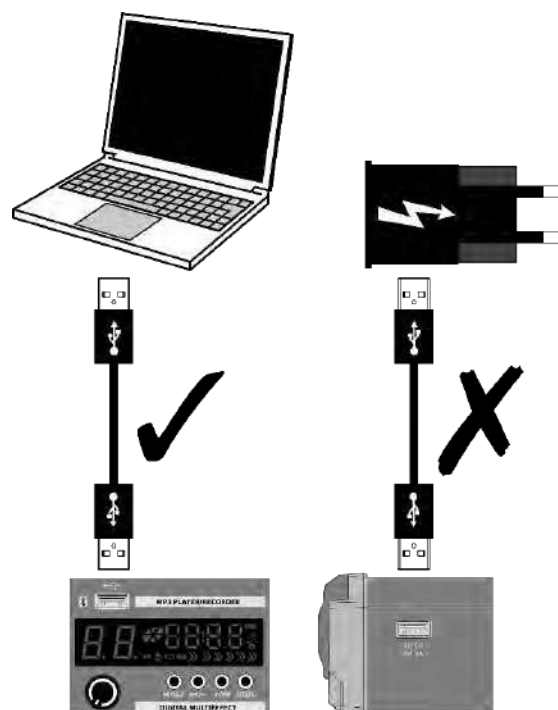
MP3 プレーヤー/レコーダーセクションです。ディスプレイにはプレーヤーの現在のステータスが表示され、下のボタンで制御できます。USB メモリーや PC、Bluetooth デバイスを接続できます。操作方法は MP3 PLAYER/RECORDER 操作ガイドをご参照ください。

26. USB PORT

USB ドライブや PC を接続する USB ポートです。PC との接続には、電源アダプター付属の USB-A/USB-A ケーブルを利用します。



重要: PC を接続する際はフロントパネルの USB ポートを使用します。USB ポートを通し、PC からミキサーに給電します。したがって、PC を接続する場合は背面の USB ポートと AC/DC アダプターを接続しないでください。お使いの PC の USB ポートがミキサーに給電できることをご確認ください。旧式の PC は電力不足で給電できない可能性がございます。



27. CH/USB BT スイッチ

2 番目の STEREO チャンネルの入力を選択できます。外部入力、BT/MP3 プレーヤーの切り替えです。

28. MAIN MIX LEVEL コントロールフェーダー

MAIN MIX 及び HEADPHONE/C.ROOM 出力の直前の出力レベルを調節します。フェーダーが一番下まで下がっている場合オフになり、「0」の位置は、+4dBu の公称出力レベルを示します。通常、「0」の位置前後に設定しておきますが、曲のフェードアウトや全体のミュートに使用することもできます。

29. MAIN MIX L/R XLR 出力

MAIN MIX フェーダーで調節された信号が出力されます。

パワーアンプやパワードスピーカー、その他のオーディオプロセッサの入力に接続します。

30. PHONES/C.ROOM レベルコントロールノブ

PHONES 及び C.ROOM 出力のレベルを調節します。

31. PHONES ステレオ JACK 端子

ヘッドホンのステレオ出力端子です。信号は MAIN MIX 出力と同じです。

32. C.ROOM JACK 出力

モニタースピーカー等へ接続するためのラインレベル出力端子です。

33. L/R LEVEL メーター

3色と4つのLEDの2列で構成されています。

- green = 信号が正常に作動しています。(-10~0 dB)
- yellow = 信号が MAX レベルで作動しています。(+3 dB)
- red = 過大な信号を検知しています。(+6dB)



注意：正しく使用するには、赤色 LED は時折点滅する場合を除き、常に消灯している必要があります。

34. 電源 ON 表示 LED

ミキサーの電源が ON になっていることを示します。

35. 電源スイッチ

ミキサーの電源スイッチです。すべてのマスター出力が完全に下がっていることを確認してからミキサーの電源を切り替えてください。

36. DC IN 5V 2A 入力

ミキサーの外部電源を接続します。電源をコンセントに差し込む前に、必ず電源をミキサーに接続してください。



重要：電源ソケットにコンピューターを接続することはできません。



DSP EFFECTS プロセッサ操作ガイド

内蔵のデジタルマルチエフェクトプロセッサは 24bit DSP をもとに構築され、100 種類以上のプリセットが搭載されています。

FX の使用方法：

1. FX PRESET セレクトノブ(22)を回してエフェクト（プリセット）を選択します。選択しているプリセット番号はディスプレイに点滅表示されます。選択後、FX PRESET セレクトノブ(22)を押すとプリセットが読み込まれ、ディスプレイに点滅表示されたプリセット番号が点灯表示に変わります。
2. エフェクトをかけたいチャンネルの FX/AUX コントロールノブ(13) (20)で、エフェクト信号のレベルを調節します。
3. FX LEVEL コントロールノブ(24)を回してエフェクトがかけられているか確認し、エフェクトのレベルの強弱を調整してください。

エフェクトプリセット一覧：

- p 00-10. HALL 1** – 小規模から大規模のホールで響き渡るサウンド再現します。深みのある滑らかなリバーブで、ボーカル、エレキギター、アコースティックギター、弦楽器、木管楽器に最適です。
- p 11-20. HALL 2** – 前プリセットと類似していますが、音色と反射音が異なります。
- p 21-30. ROOM 1** – 自然な室内音響のアコースティック感を再現します。ボーカル、フィンガーギター、ドラムに最適です。
- p 31-40. ROOM 2** – 前プリセットと類似していますが、音色と反射音が異なります。
- p 41-45. SHORT DELAY** – 短めでスタンダードなエコーとフィードバックを組み合わせたエフェクトです。
- p 46-55. DELAY** – 長めでスタンダードなエコーとフィードバックを組み合わせたエフェクトです。
- p 56-65. DELAY+REV** – スタンダードなリバーブとエコーを組み合わせたエフェクトです。
- p 66-70. CHORUS** – コーラスをイメージしたソフトで優美なスweepエフェクトです。エレキギター、アコースティックギター、ベースを際立たせるのに最適です。また、ボーカル、特にハーモニーやコーラスにドラマティックな雰囲気をもたらします。
- p 71-75. FLANGER** – 強いスweep効果を生み出すエフェクトです。特にロックなエレキギターに向いています。
- p 76-80. PHASER** – 遅延時間が長くなるにつれ、甘いスweep効果を生み出すエフェクトです。特にロックなエレキギターに向いています。
- p 81-85. TREMOLO** – トレモロの技法をモチーフにした、音を小刻みに揺らすエフェクトです。ブルースやロックのエレキギターに向いています。
- p 86-90. WAHWAH** – スタンダードなトーン変調のエフェクトです。エレキギターに使用します。
- p 91-95. CHORUS+DEL** – コーラスとディレイを組み合わせたエフェクトです。
- p 96-97. FLANGER+DEL** – フランジャーとディレイを組み合わせたエフェクトです。
- p 98-99. WAHWAH+DEL** – ワウワウとディレイを組み合わせたエフェクトです。

MP3 プレーヤー/レコーダー操作ガイド

Bluetooth、PC、USB メモリーのいずれも接続されていない場合、ディスプレイには右の画面のように表示されます。



MODE

MODE ボタンはプレーヤーの操作モードを切り替えます。

USB メモリー再生モード

USB ポートに USB メモリーを接続した場合、内蔵の MP3 プレーヤーは USB メモリー内の最初の曲を再生します。ディスプレイには、最初に曲の番号、続いて現在の曲の再生時間が表示されます。順番はアルファベット順にルートフォルダーからサブフォルダーへと続きます。



ディスプレイ画面下部にあるボタンの操作方法：



▶/REC

PLAY / PAUSE

一時停止状態を表示します。



◀/-

前の曲を最初から再生します。



+/▶

次の曲を最初から再生します。



USB メモリーレコーダー

ミキサーの出力を USB キーに録音します。
ディスプレイに右の画面が表示されるまで **MODE** ボタンを長押しします。



表示状態：



▶/REC

録音がスタートするまで長押しします。
ディスプレイには録音時間の経過が表示されます。



▶/REC

REC ボタンを再度押すと録音は一時停止し、ディスプレイの時間表示は止まります。



録音されたファイルは、接続された USB ドライブの「JL_REC」フォルダ内に、ファイル名「AC69nnnn.WAV」で連続して保存されます。

注意：録音データは 44100 サンプルレート、16 bit、2 チャンネルで保存されます。

BLUETOOTH プレーヤー

Bluetooth デバイスを接続していない場合、ディスプレイの表示は点滅します。

接続デバイスの Bluetooth 設定から「PLAYMIX」を選択するとディスプレイの点滅が停止し、右の画面のように表示されます。

PLAY を押すと、ディスプレイには右の画面のように表示されます。

ボタンの操作一覧：

-  **PLAY / PAUSE**
-  **開始/停止**
-  **前の曲を最初から再生します。**
-  **次の曲を最初から再生します。**

PC 接続

フロントパネルの USB ポートから PC に接続します。
PC の設定をご確認ください。

PC で「スタート」→「設定」→「システム」→「サウンド」の順番でクリックし、出力デバイスを「PLAYMIX」に設定してください。

PC でオーディオコンテンツを再生すると、ディスプレイの表示が変わります。

PLAYMIX を PC の入力デバイスに設定すると、録音ソフトを使用して MAIN MIX の音声を録音することができます。



注意：ミキサーの録音データは 48000 サンプルレート、16 bit、2 チャンネルで保存されます。



Sound

Output

Choose your output device

Speakers (PLAYMIX)

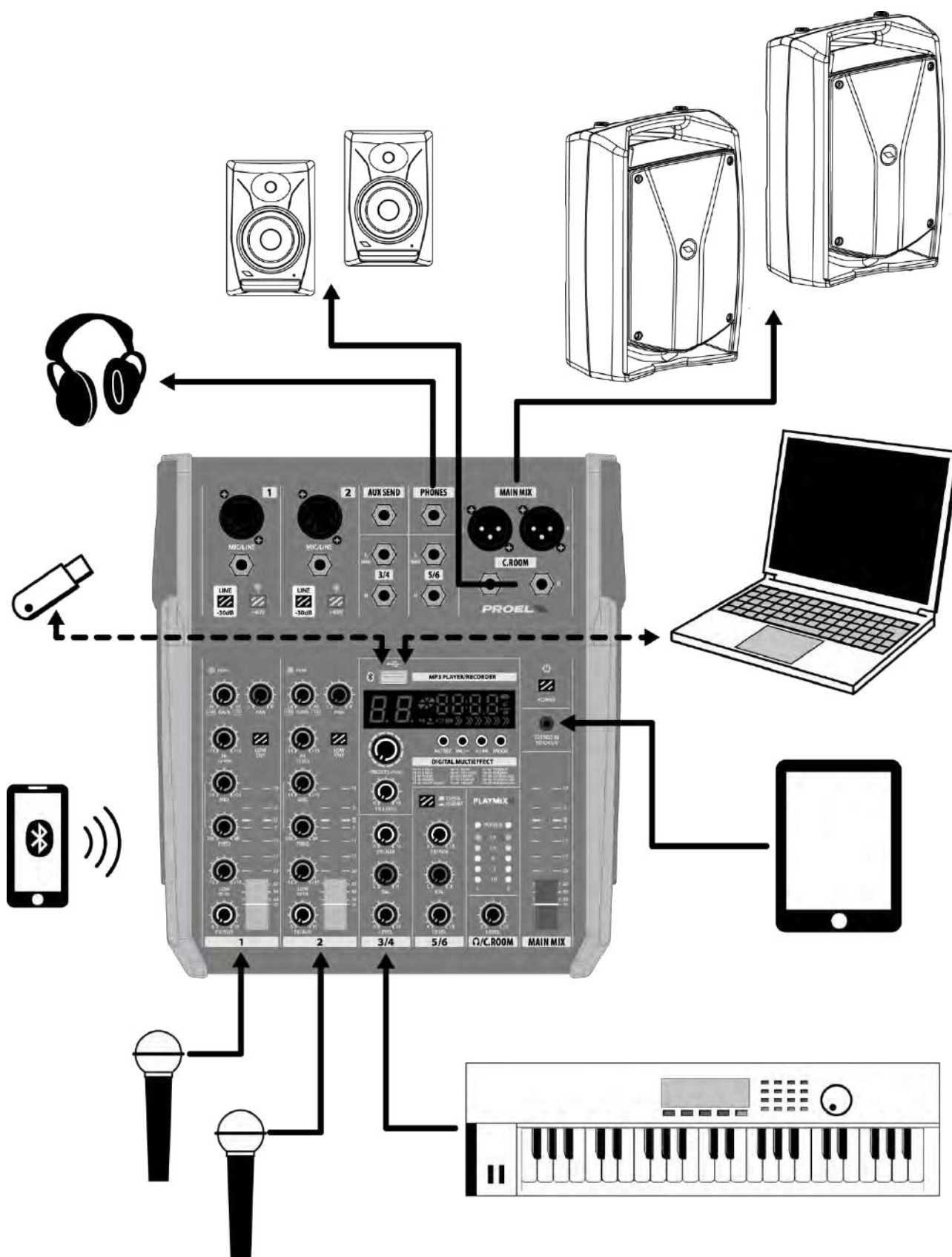


Input

Choose your input device

Microphone (PLAYMIX)

接続例

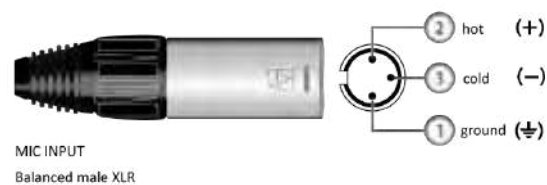
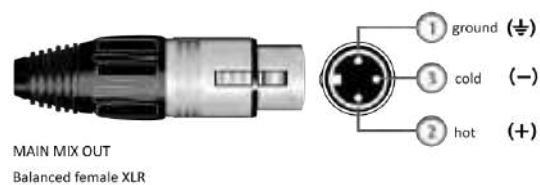
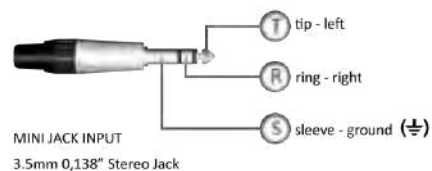
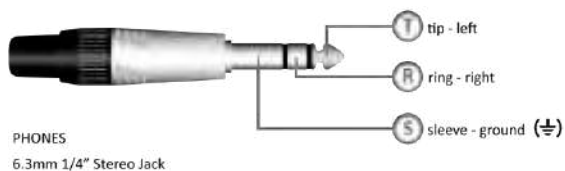
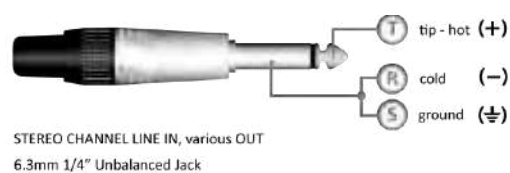
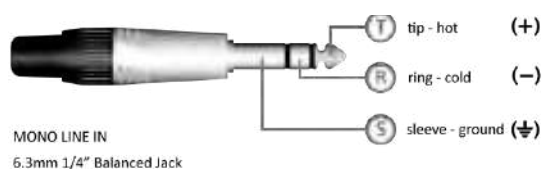




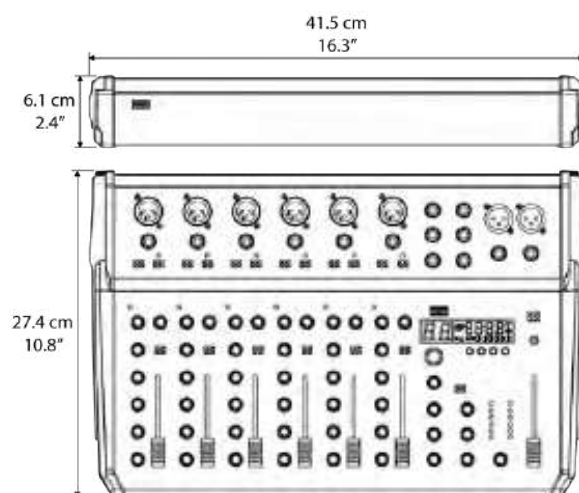
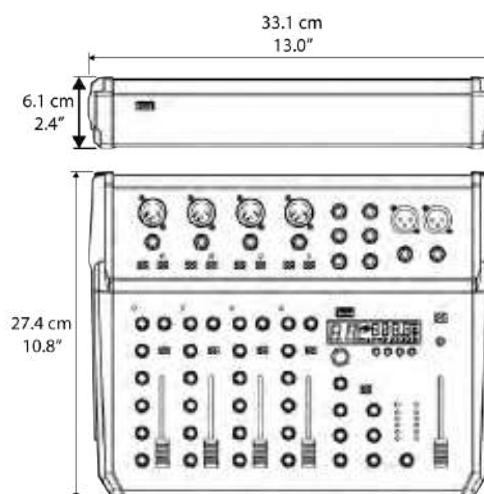
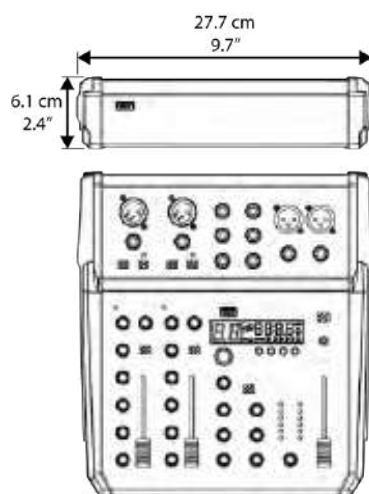
製品仕様

Model		PLAYMIX6	PLAYMIX8	PLAYMIX10	コネクタ
モノラル入力チャンネル					
マイク入力	感度	from -10 to -45 dB	from -10 to -45 dB	from -10 to -45 dB	バランス XLR-F
	インピーダンス	1 Kohm	1 Kohm	1 Kohm	
ライン入力	感度	from +20 to -15 dB	from +20 to -15 dB	from +20 to -15 dB	バランスジャック
	インピーダンス	20 Kohm	20 Kohm	20 Kohm	
ローカット		80Hz, 6dB/oct.	80Hz, 6dB/oct.	80Hz, 6dB/oct.	
イコライザー	高域 (shelving)	±15 dB @ 12K Hz	±15 dB @ 12K Hz	±15 dB @ 12K Hz	
	中域 (peaking)	±12 dB @ 250-6K Hz	±12 dB @ 250-6K Hz	±12 dB @ 250-6K Hz	
	低域 (shelving)	±15 dB @ 80 Hz	±15 dB @ 80 Hz	±15 dB @ 80 Hz	
ステレオ入力チャンネル					
ライン入力	感度	from +12 to -15 dB	from +12 to -15 dB	from +12 to -15 dB	バランスジャック
	インピーダンス	20 Kohm	20 Kohm	20 Kohm	ステレオミニジャック
マスターセクション					
MAIN MIX	基準出力レベル	+4 dBu	+4 dBu	+4 dBu	アンバランス XLR-M
C. ROOM 出力	基準出力レベル	+4 dBu	+4 dBu	+4 dBu	アンバランスジャック
SEND 出力	基準出力レベル	+4 dBu	+4 dBu	+4 dBu	アンバランスジャック
ヘッドホン出力	最小インピーダンス	64 ohm	64 ohm	64 ohm	ステレオジャック
Bluetooth		Version 5.0, Audio Streaming			
USB プレーヤー		Stereo IN/OUT, 16-bit converter, 44,1 KHz sample rate			Type A
デジタルエフェクトプロセッサー					
エフェクト数		100 種プリセット			
A/D と D/A コンバーター		24 bit			
DSP 解像度		24 bit			
コントロール		2-DIGIT display, DIAL, LEVEL			
基本仕様					
最大レベル	全出力	+15 dBu			
クロストーク	meas. at 1 KHz	> 75 dB			
ハムノイズ	unweighted	< 90 dB			
THD + N	at +4dB, 1kHz	< 0,009 %			
外観寸法 (WxHxD)		247 x 274 x 61 mm	331 x 274 x 61 mm	415 x 274 x 61 mm	
重量		1,80 kg	2,50 kg	3,00 kg	
電源要件					
電源		付属の AC/DC アダプタ 5VDC 2A	付属の AC/DC アダプタ 5VDC 2A	付属の AC/DC アダプタ 5VDC 2A	JP Plug
供給電圧		100-240 VAC (±10%) 50/60 Hz	100-240 VAC (±10%) 50/60 Hz	100-240 VAC (±10%) 50/60 Hz	
消費電力		15 W	15 W	15 W	

コネクタ



外観寸法





PROEL 正規輸入元

株式会社ワタナベ楽器店

Watanabe Musical instruments Co. Ltd.

〒604-0904 京都市中京区西革堂町 184-3

TEL: 075-241-1356

FAX: 075-212-0616

<https://watanabe-mi.jp/>

PROEL S.p.A.

(World Headquarters - Factory)

Via alla Ruenia 37/43

64027 Sant'Omero (Te) – Italy

Tel: +39 0861 81241

Fax: +39 0861 887862

<https://soundsystems.proel.com/>

PROEL 